

## 野方保育所完成

総事業費1億7千9百35万5千円の町立野方保育所改築工事が、5月25日完成し、7月14日、落成式が行われました。

新しい保育所での運営は、8月1日から行われ、住所も野方六一九番地から野方六〇九五番地三八に変わります。受託人員は、今までどおり90人です。また、来年の4月1日からは、民間移管が決まっており、移管先は「ちびっこ保育園」が予定されています。

## 大崎町過疎地域自立促進計画に 野方公民分館運動場公衆便所 新築工事を追加

野方保育所改築工事に伴ない、保育所の建設場所にあった既設の外トイレが取り壊しとなり、当初予算で野方公民分館運動場公衆便所新築工事が計画されていましたが、財源を返済が有利な過疎債に変更するために、今回新たに大崎町過疎地域自立促進計画に追加するものです。現在、工事が行われており、野方公民分館運動場の東側に建設中です。



▲建設中の野方公民分館運動場公衆便所

## ●専決処分の承認

### 承認第1号〜承認第7号

専決処分とは、議会の権限に属する事項について町村長が議会に代わって意思決定を行うことで、事件が緊急を要する場合に行われます。

承認第1号は、3月31日付で専決処分された平成16年度大崎町一般会計補正予算(第7号)で、承認第2号は、地方税法の一部改正が3月に行われたことによる大崎町町税条例の一部改正です。承認第3号〜第7号は、市町村合併による一部事務組合の加入・脱退で5月13日付で専決処分されたものです。

## 陳情

### 米国産牛肉の拙速な 輸入再開に反対する陳情書

#### ●陳情書提出者

食とみどり、水を守る鹿児島県民の会  
代表 田代正一 広川順二

#### ●陳情主旨

政府は、2003年に米国でBSE(牛海綿状脳症)の発生が確認されてから米国産の牛肉及び牛肉加工品の輸入を禁止してきたが、20カ月齢以下の牛を全頭検査の対象から除外することを決め、米国産牛肉などの輸入再開に向けた動きを進めており、日本に比べて米国産牛肉は、検査体制や生産・流通履歴が不明確であるので、あまり急いで米国産牛肉の輸入再開を行わないよう求めるものです。

#### ●意見書の提出先

議会では、陳情の趣旨を妥当と認め、関係各機関へ意見書を提出しました。意見書の提出先は、内閣総理大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、食品安全担当大臣宛です。